

令和6年度 北海道七飯養護学校 学校評価結果

令和6年度の学校評価結果と改善の方策をお知らせします。別添で保護者と職員の結果を掲載しましたので、ご覧ください。

1 本年度の重点目標

「チームで、より子どもたちのためになる学校づくりの推進」 ○保護者や地域との連携による、子どもたちの学びの機会を広げ、感謝を伝え合う教育活動の推進 ○一人一人の適切な学びと、他者のと学び合いによる子ども主体の学びの追求 ○元気に子どもたちの前に立ち、効果的な教育活動を持続的に行うための働き方改悪の一層の推進

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方針

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
平均値が最も低く重点的な改善が必要な項目	平均値は3.4ポイントである。 最も低い数値は3.2、項目7「ICTを積極的に活用し、効果的・効率的な業務改善に取り組んでいる。」や項目11「主体的・和岩的で深い学びの実現に向けて、効果的にICTを活用しながら指導している」など、5項目であった。	【保護者】 平均値は3.6ポイントである。 最も低い数値は項目5「各学部卒業後の進路や福祉サービスなどの情報が分かりやすく説明されている」の3.1ポイントであった。また、項目13「PTA活動について周知され、保護者が参加しやすい活動となっていますか」が、3.4ポイントであった。
改善方策	自己評価で最も低くなった項目7や項目11については、ICTの効果的活用が課題であることが分かった。児童生徒個々の実態に応じてICTを効果的に活用した指導を実践し、主体的・対話的で深い学びの充実を図るとともに、校務への活用についても校内での活用事例の情報共有や研修会への参加など、教員が効果を実感できる効果的なICT活用に取り組む必要がある。 保護者評価は平均3.6ポイントとおおむね好評価が得られているが、項目5、評価項目13については、平均よりも低い評価となった。進路や福祉サービスに関する情報提供、PTA活動や地域資源の関わりに向けた情報発信について、内容や方法の工夫を図り、取組への理解につなげる必要がある。	
自己評価の数値よりも学校関係者の数値の方が低い項目	保護者からの評価が下回る項目はない。	
改善方策	保護者評価全体的には、16項目中12項目が平均値以上の結果となった。全項目について、昨年度と同値若しくは昨年度よりも上回る結果となっている。今後も、個別の教育支援計画の活用や個別の指導計画について、分かりやすく説明するなど、保護者との連携を図る取組を継続する必要がある。	
自由記述	狭隘化に伴う教育環境の整備、業務の偏り、情報共有に係る改善に関する意見がある。	【保護者】 冬道のスクールバス乗車支援についての意見がある。
改善方策	意見を参考に、教育環境の工夫や改善、業務の整理や見直し、保護者の意見を踏まえた教育活動の充実に継続して取り組む。	
公表方法	本校ホームページに集約結果を公開している。 PTA役員会において説明し、意見等を拝聴している。 学校運営協議会委員に文書を配付の上、説明し、意見等を拝聴している。	

3 添付資料

- (1) 資料1 令和6年度 北海道七飯養護学校 学校評価保護者アンケート集計結果
- (2) 資料2 令和6年度 北海道七飯養護学校 学校評価教職員アンケート集計結果